

2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）



2024年4月11日

東

上場会社名 株式会社 F I X E R
コード番号 5129
代表者（役職名） 代表取締役社長
問合せ先責任者（役職名） 取締役
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所
URL <https://www.fixer.co.jp/>
（氏名） 松岡 清一
（氏名） 磐前 豪 (TEL) 03(3455) 7755
配当支払開始予定日 —

（百万円未満切捨て）

1. 2024年8月期第2四半期の業績（2023年9月1日～2024年2月29日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	3,943	△39.1	498	△67.8	498	△67.3	314	△67.1
2023年8月期第2四半期	6,479	—	1,545	—	1,524	—	956	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年8月期第2四半期	21.30		19.94					
2023年8月期第2四半期	66.50		61.49					

（注）1. 2022年8月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年8月期第2四半期の対前年同四半期の増減率については記載していません。

2. 2023年8月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式が2022年10月6日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、新規上場日から前第2四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	7,024	6,034	85.9
2023年8月期	7,140	5,718	80.1

（参考）自己資本 2024年8月期第2四半期 6,032百万円 2023年8月期 5,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	0.00	—	—	—
2024年8月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,116	△35.6	601	△71.5	602	△71.2	386	△72.1	26.14

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年8月期2Q	14,766,000株	2023年8月期	14,753,400株
2024年8月期2Q	35株	2023年8月期	35株
2024年8月期2Q	14,764,465株	2023年8月期2Q	14,382,100株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期財務諸表に掲載される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期会計期間及び第1四半期累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前事業年度及び前第2四半期累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（自 2023年9月1日 至 2024年2月29日）における我が国経済は、円安に加え、資源やエネルギー価格の高止まり等を背景とした物価上昇や、ウクライナ情勢の長期化、中国経済の先行き懸念等もありましたが、景気は底堅く推移しております。

当社が属する国内の情報サービス産業においては、労働人口の減少傾向や業務効率化ニーズを背景に、デジタル化の推進ニーズは旺盛です。また、生成AIの劇的な進化によりDX（デジタルトランスフォーメーション）への期待は一段と高まっております。

このような環境下、当社はクラウドネイティブカンパニーとして、「日本のエンタープライズシステムにグローバル品質のクラウドパワーを」をミッションに掲げ、日本のDXの加速に取り組んでまいりました。また、生成AIを今後の成長の柱に据えるべく大幅な事業変革にも取り組んでおります。具体的にはエンタープライズ向けAGIプラットフォーム「GaiXer」のUI/UXの改善を行ったほか、デジタル庁の生成AI技術検証の環境整備プロジェクトや順天堂大学との実証実験を通じた「GaiXer」の機能強化に注力してまいりました。

注力しております「GaiXer」については、デジタル庁の実証実験を受託したほか、自治体での導入が進んでおります。しかしながら、プロジェクトの端境期に入った影響で、プロジェクト型サービスの売上高は838百万円（前年同期比46.7%減）となったほか、自動架電サービスの利用が大幅に減少した影響でSaaSが27百万円（前年同期比98.4%減）となりましたが、外注費の低減に努め売上原価を抑制しました。一方で「GaiXer」への投資を強化したこと等から販売費及び一般管理費については、前年同期比で増加しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高3,943百万円（前年同期比39.1%減）、売上総利益1,408百万円（前年同期比39.4%減）、営業利益498百万円（前年同期比67.8%減）、経常利益498百万円（前年同期比67.3%減）四半期純利益314百万円（前年同期比67.1%減）となりましたが、計画比では増収増益となりました。

なお、当社の事業はクラウドサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は7,024百万円となり、前事業年度末に比べて116百万円減少しました。これは主に、売掛金及び契約資産が595百万円増加した一方で、現金及び預金が633百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は990百万円となり、前事業年度末に比べて431百万円減少しました。これは主に、買掛金が88百万円、流動負債のその他が267百万円減少したことによるものであります。流動負債のその他の減少は、主に未払費用が119百万円、未払金が105百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は6,034百万円となり、前事業年度末に比べて315百万円増加しました。これは主に、四半期純利益314百万円を計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ633百万円減少し、4,200百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、支出した資金は620百万円（前年同期は512百万円の支出）となりました。これは主に、税引前四半期純利益が500百万円あった一方で、売上債権の増加額が595百万円、仕入債務の減少額が88百万円、未払金の減少額が105百万円、未払費用の減少額が119百万円、法人税等の支払い額が201百万円あったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、獲得した資金は2百万円（前年同期は281百万円の支出）となりました。これは主に、固定資産の取得による支出が5百万円あった一方で、投資有価証券の売却による収入が8百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は16百万円（前年同期は1,047百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出17百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社はクラウドネイティブカンパニーとして、「日本のエンタープライズシステムにグローバル品質のクラウドパワーを」をミッションに掲げ、日本のDXの加速に取り組んでまいりました。また、生成AIを今後の成長の柱に据えるべく大幅な事業変革にも取り組んでおります。このような状況下、2020年に当社が開発し、保守運用をしておりました新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理システム（HER-SYS）の運用が終了することとなりましたため、短期的には収益が大幅に減少する見込みとなりました。一方で成長に必要な投資をしっかりと実行することで、新規プロジェクトの受注やエンタープライズ向けAGIプラットフォーム「GaiXer」の拡販に取り組み、事業変革に注力し来期以降の非連続な成長を目指してまいります。

ビジネスモデル別の売上は、プロジェクト型サービスは2,601百万円、リセールは3,366百万円、マネージドサービスは1,098百万円、SaaSは49百万円を計画しております。

以上の結果、売上高7,116百万円（前期比35.6%減）、営業利益601百万円（前期比71.5%減）、経常利益602百万円（前期比71.2%減）、当期純利益386百万円（前期比72.1%減）を計画しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,837	4,204
売掛金及び契約資産	1,338	1,933
その他	149	127
流動資産合計	6,325	6,264
固定資産		
有形固定資産	276	253
投資その他の資産	538	506
固定資産合計	815	759
資産合計	7,140	7,024
負債の部		
流動負債		
買掛金	591	502
1年内返済予定の長期借入金	20	7
未払法人税等	228	189
賞与引当金	112	106
役員賞与引当金	14	—
その他	436	169
流動負債合計	1,404	976
固定負債		
長期借入金	17	13
固定負債合計	17	13
負債合計	1,421	990
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,212	1,213
資本剰余金	1,177	1,178
利益剰余金	3,326	3,641
自己株式	△0	△0
株主資本合計	5,717	6,032
新株予約権	1	1
純資産合計	5,718	6,034
負債純資産合計	7,140	7,024

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年9月1日 至2023年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自2023年9月1日 至2024年2月29日)
売上高	6,479	3,943
売上原価	4,155	2,534
売上総利益	2,323	1,408
販売費及び一般管理費	777	910
営業利益	1,545	498
営業外収益		
受取利息	0	0
雑収入	0	1
営業外収益合計	0	1
営業外費用		
支払利息	0	0
上場関連費用	7	—
株式交付費	11	—
為替差損	2	0
営業外費用合計	22	0
経常利益	1,524	498
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
新株予約権戻入益	—	0
特別利益合計	—	1
税引前四半期純利益	1,524	500
法人税等	567	186
四半期純利益	956	314

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,524	500
減価償却費	14	28
新株予約権戻入益	—	△0
株式交付費	11	—
上場関連費用	7	—
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	496	△595
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,376	△88
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△72	△6
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△14
未払金の増減額 (△は減少)	△101	△105
未払費用の増減額 (△は減少)	30	△119
その他の資産の増減額 (△は増加)	12	28
その他の負債の増減額 (△は減少)	△167	△45
小計	381	△418
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△894	△201
営業活動によるキャッシュ・フロー	△512	△620
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△91	△5
投資有価証券の売却による収入	—	8
敷金の差入による支出	△192	△0
敷金の回収による収入	3	0
定期預金の預入による支出	—	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△281	2
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△49	△17
株式の発行による収入	1,116	1
株式の発行による支出	△11	—
上場関連費用の支出	△7	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,047	△16
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	253	△633
現金及び現金同等物の期首残高	3,685	4,833
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,938	4,200

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。